

# 業種別労働災害発生状況

令和7年2月末現在

釧路労働基準監督署

区分 業種別	令和7年			前年同期			対前年		業種 割合 (%)	令和6年末確定		
	死 亡	休 業	合 計	死 亡	休 業	合 計	増 減 数	増 減 率		死 亡	休 業	合 計
全産業合計		62	62	2	65	67	-5	-7.5	100.0	4	454	458
製造業		15	15		17	17	-2	-11.8	24.2		92	92
食料品		5	5		11	11	-6	-54.5	8.1		60	60
木材・家具		3	3		2	2	1	50.0	4.8		12	12
紙・パルプ												
窯業・土石												
金属・機械		4	4		1	1	3	300.0	6.5		7	7
その他		3	3		3	3			4.8		13	13
鉱業												
土石採取業		1	1		1	1			1.6		2	2
建設業		6	6	1	12	13	-7	-53.8	9.7	3	61	64
土木工事業		4	4		5	5	-1	-20.0	6.5	2	19	21
建築工事業		1	1	1	4	5	-4	-80.0	1.6	1	26	27
木造建築業		1	1		3	3	-2	-66.7	1.6		13	13
設備工事業											3	3
交通運輸事業		2	2		2	2			3.2		13	13
陸上貨物運送事業		4	4		3	3	1	33.3	6.5		46	46
道路貨物運送業		4	4		3	3	1	33.3	6.5		46	46
陸上貨物取扱業												
港湾荷役業		1	1		1	1					3	3
林業		2	2	1		1	1	100.0	3.2	1	5	6
畜産業		2	2		2	2			3.2		19	19
水産業					1	1	-1				33	33
小売業		4	4		8	8	-4	-50.0	6.5		37	37
社会福祉施設		9	9		5	5	4	80.0	14.5		34	34
接客娯楽業		1	1		3	3	-2	-66.7	1.6		21	21
清掃・と畜業		2	2		3	3	-1	-33.3	3.2		19	19
上記以外の事業		13	13		7	7	6	85.7	21.0		69	69

本統計は労働者死傷病報告書（休業4日以上）及び死亡災害速報により集計したものである。

## 令和7年 死亡労働災害発生状況(令和7年2月末現在)

釧路労働基準監督署

番号	発生月	業種	災 害 発 生 概 況	事故の型 起 因 物
			発生なし	

本件事例は脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは掲載していません。

## 令和6年 死亡労働災害発生状況

番号	発生月	業種	災 害 発 生 概 況	事故の型 起 因 物
1	1月	林業	被災者は、伐木等機械(グラップル)を使用し、伐倒木の木寄せ集材作業を行っていたところ、何らかの理由で、グラップルのブームのシリンダーとキャビンのフレームの間に身を乗り出した格好で挟まれていたところを発見されたもの。 発見時、被災者が操縦していたグラップルのキャビンの右サイドガラスが破損していた。	はさまれ、巻き込まれ 伐木等機械
2	2月	建築工事業	被災者は、杭抜作業を行っていた際に、ドラグショベルで掘削した部分に入り、杭頭を確認するためにスコップを使用して手掘で地面を掘削していたところ、法面が崩壊し、土砂に下半身が埋まり被災したもの。 土砂から救出された時は意識があったが搬送先の病院で死亡が確認された。	崩壊、倒壊 地山、岩石
3	6月	道路建設工事業	被災者は、林道の補修に使用するロード・ローラーを運転して補修場所に向かっていった際に、路肩からはみ出してロード・ローラーごと斜面に転落し被災したもの。	墜落、転落 締固め用機械
4	11月	道路建設工事業	高速自動車国道の舗装工事現場において、ランプ(高速道路と一般道を連結する道路)の法肩で張芝作業を行っていた被災者が、道路中央付近で、荷台に芝を積んで後進していたトラックにひかれたもの。	はさまれ、巻き込まれ トラック

本件事例は脳・心臓疾患、ウイルス感染症等によるものは掲載していません。